

## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社エスアイイー 上場取引所 東  
コード番号 292A URL [http:// sie.co.jp/](http://sie.co.jp/)  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤井 聖士 (TEL) 03(6206)8414  
定時株主総会開催予定日 2026年3月30日 配当支払開始予定日 —  
発行者情報提出予定日 2026年3月30日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期の業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	6,750	13.9	20	△90.1	35	△83.9	27	△82.1
2024年12月期	5,927	11.4	206	24.2	218	25.6	153	33.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	9.17	8.11	6.1	1.4	0.3
2024年12月期	51.10	45.18	29.5	11.3	3.5

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	2,665	384	14.4	127.95
2024年12月期	2,217	521	23.5	173.79

(参考) 自己資本 2025年12月期 383百万円 2024年12月期 521百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	△66	△376	287	774
2024年12月期	228	△272	216	930

## 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	0.00	55.00	55.00	165	107.6	31.6
2025年12月期	0.00	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 2024年12月期の期末配当金の内訳、普通配当35円00銭 記念配当20円00銭(上場年記念配当)  
2. 2025年12月期の期末配当につきましては、2026年3月上旬を目途に、決議次第あらためてお知らせいたします。  
3. 現時点において、2026年12月期の配当金は未定としております。

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,541	11.7	96	373.3	102	192.2	71	160.1	23.85

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	3,000,000株	2024年12月期	3,000,000株
2025年12月期	-株	2024年12月期	-株
2025年12月期	3,000,000株	2024年12月期	3,000,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(1株当たり情報の注記) .....	12
(重要な後発事象の注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、インバウンド需要、賃上げによる個人消費の改善など、景気は緩やかな回復をしてきました。先行きについても、新政権による積極的な財政支出、賃上げの継続など雇用・所得環境が緩やかに回復すると期待されています。一方、インフレの長期化、長期金利の上昇や米国の政策、中国との関係など先行きが不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社の事業領域であるIT市場におきましては、企業におけるDX関連やAI関連の積極的な投資に伴い、IT技術者に対する需要は継続して高水準で推移しています。

以上の結果、売上高は6,750,367千円（前期比13.9%増）、営業利益は20,446千円（同90.1%減）、経常利益35,170千円（同83.9%減）、当期純利益は27,506千円（同82.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

#### (ITスクール事業)

ITスクール事業の売上高は、159,967千円、セグメント損失は、290,265千円となりました。

企業の幅広いニーズに応えられるよう、豊富なカリキュラムを整備するとともに、短期間で資格やスキルを身に付けることができるよう、学習システムの強化も行っていました。一部顧客企業における採用環境の悪化により、新人の受入人数が減少したことによる研修見送りの影響により、減収となりました。

また、英国国立エセックス大学との提携校開校のための初期投資としての費用を計上したことにより、セグメント損失となりました。

#### (人材ソリューション事業)

人材ソリューション事業の売上高は、6,024,278千円、セグメント利益は、1,114,478千円となりました。

景気が回復したことによる各社の採用が徐々に活発化したことで中途採用者の採用が計画通りに推移しないなどの厳しい状況でありましたが、営業人員増強、高付加価値技術者取得を目的とした中途採用、BOOKNSを活用した人材育成の強化により、新規顧客の開拓や既存顧客への増員、単価の向上を図ることで、堅調な業績推移を達成することが出来ました。

#### (コンテンツソリューション事業)

コンテンツソリューション事業の売上高は、560,134千円、セグメント利益は、36,362千円となりました。

ゲーム事業では、人材採用などの体制強化が奏功し大型の受注を獲得することができました。セキュリティ関連では、マルウェアなどコンピュータウイルスによる被害が拡大しており、対策の一環としての脆弱性診断の安定した受注のほか、受託開発案件の受注により順調に推移しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ448,290千円増加し、2,665,520千円となりました。これは主に、売掛金が75,765千円、契約資産が81,582千円、建物が140,622千円、建設仮勘定が174,200千円増加し、現金及び預金が155,263千円減少したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べ585,784千円増加し、2,281,478千円となりました。これは主に、短期借入金が324,200千円、未払金が102,118千円、長期借入金が114,655千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ137,493千円減少し、384,041千円となりました。これは剰余金の配当による減少165,000千円、当期純利益27,506千円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ155,265千円減少し、当事業年度末には774,980千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、66,063千円となりました。これは主に、税引前当期純利益35,170千円、減価償却費37,210千円、未払金の増加102,118千円等によりキャッシュ・フローが増加した一方で、売上債権の増加による減少75,765千円、契約資産の増加による減少81,582千円、法人税等の支払額58,403千円等によりキャッシュ・フローが減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、376,356千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出302,588千円、無形固定資産の取得による支出31,977千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、287,155千円となりました。これは主に、短期借入金の純増額324,200千円、長期借入れによる収入133,000千円及び、配当金の支払額165,000千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後も引き続き、AIなど情報技術の革新とともにITエンジニアへの要求も高くなっていくものと見込んでいます。一方、慢性的なITエンジニア不足に加え、情報技術の革新に対応できるITエンジニアも限りがあり、益々需要が高まると予想されます。当社では、ITスクールでのITエンジニアの育成、新技術の講座開設、オンライン授業を可能とする「BOOKNS (ブックネス)」を通じて、社内外のITエンジニアの育成、スキルアップ、リカレント教育を積極的に推進していきます。

英国国立エセックス大学との提携校を2025年9月に開校いたしました。同校では、豊富なカリキュラムを提供することにより、システム開発、AIエンジニア、ネットワーク技術者など、社会に欠かせないIT技術者を輩出していく計画です。

これらの取組みを踏まえ、2026年12月期は、売上高7,541,102千円(当事業年度比11.7%増)、営業利益96,769千円(当事業年度比373.3%増)、経常利益102,784千円(当事業年度比192.2%増)、当期純利益71,537千円(当事業年度比160.1%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	935,246	779,983
売掛金	676,770	752,536
契約資産	45,692	127,275
貯蔵品	3,737	12,313
前渡金	2,788	4,240
前払費用	57,326	64,152
未収還付法人税等	-	20,360
その他	15,474	41,931
貸倒引当金	△147	△176
流動資産合計	1,736,889	1,802,617
固定資産		
有形固定資産		
建物	45,066	185,689
機械及び装置	7,581	7,581
工具、器具及び備品	22,189	40,529
土地	276,036	276,036
建設仮勘定	-	174,200
減価償却累計額	△36,385	△49,099
有形固定資産合計	314,488	634,936
無形固定資産		
ソフトウェア	69,089	80,343
商標権	880	1,111
無形固定資産合計	69,969	81,455
投資その他の資産		
出資金	100	100
破産更生債権等	32,500	32,500
長期前払費用	908	2,958
繰延税金資産	75,510	83,090
その他	19,364	60,362
貸倒引当金	△32,500	△32,500
投資その他の資産合計	95,882	146,511
固定資産合計	480,340	862,903
資産合計	2,217,229	2,665,520

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,582	24,105
短期借入金	670,000	994,200
1年内返済予定の長期借入金	3,936	17,235
未払金	581,879	683,998
未払費用	23,727	61,144
未払法人税等	43,159	-
未払消費税等	135,166	124,606
返金負債	7	7
前受金	14,684	14,471
預り金	23,186	25,826
賞与引当金	146,997	150,260
その他	-	18
流動負債合計	1,659,326	2,095,875
固定負債		
長期借入金	36,368	151,023
資産除去債務	-	34,579
固定負債合計	36,368	185,602
負債合計	1,695,694	2,281,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金		
利益準備金	7,500	7,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	483,855	346,361
利益剰余金合計	491,355	353,861
株主資本合計	521,355	383,861
新株予約権	180	180
純資産合計	521,535	384,041
負債純資産合計	2,217,229	2,665,520

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,927,685	6,750,367
売上原価	4,797,832	5,617,463
売上総利益	1,129,852	1,132,903
販売費及び一般管理費	923,748	1,112,457
営業利益	206,104	20,446
営業外収益		
受取利息	71	1,111
受取配当金	3	3
受取家賃	1,959	1,952
助成金収入	6,314	15,984
ポイント還元収入	8,628	6,737
貸倒引当金戻入益	-	0
その他	77	1,691
営業外収益合計	17,054	27,478
営業外費用		
支払利息	3,714	10,882
受取家賃原価	530	501
貸倒引当金繰入額	0	-
為替差損	254	1,372
営業外費用合計	4,499	12,756
経常利益	218,658	35,170
税引前当期純利益	218,658	35,170
法人税、住民税及び事業税	70,879	15,244
法人税等調整額	△5,516	△7,580
法人税等合計	65,363	7,664
当期純利益	153,295	27,506

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					新株 予約権	純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計		
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計			
	繰越利益剰余金						
当期首残高	30,000	5,600	482,460	488,060	518,060	180	518,240
当期変動額							
剰余金の配当			△150,000	△150,000	△150,000		△150,000
利益準備金の 積立		1,900	△1,900				
当期純利益			153,295	153,295	153,295		153,295
当期変動額合計	-	1,900	1,395	3,295	3,295	-	3,295
当期末残高	30,000	7,500	483,855	491,355	521,355	180	521,535

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					新株 予約権	純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計		
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計			
	繰越利益剰余金						
当期首残高	30,000	7,500	483,855	491,355	521,355	180	521,535
当期変動額							
剰余金の配当			△165,000	△165,000	△165,000		△165,000
利益準備金の 積立							
当期純利益			27,506	27,506	27,506		27,506
当期変動額合計	-	-	△137,493	△137,493	△137,493	-	△137,493
当期末残高	30,000	7,500	346,361	353,861	383,861	180	384,041

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	218,658	35,170
減価償却費	24,257	37,210
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,261	3,262
受取利息及び受取配当金	△74	△1,114
支払利息	3,714	10,882
助成金収入	△6,314	△15,984
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,922	△75,765
契約資産の増減額 (△は増加)	△38,534	△81,582
棚卸資産の増減額 (△は増加)	430	△8,576
立替金の増減額 (△は増加)	2,152	△28,129
買掛金の増減額 (△は減少)	2,119	7,523
未払金の増減額 (△は減少)	120,707	102,118
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,911	△10,559
その他	△23,339	11,968
小計	262,985	△13,546
利息及び配当金の受取額	74	1,114
利息の支払額	△3,904	△11,212
助成金の受取額	6,314	15,984
法人税等の支払額	△36,486	△58,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,983	△66,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,001	△5,003
定期預金の払戻による収入	5,001	5,001
有形固定資産の取得による支出	△231,126	△302,588
無形固定資産の取得による支出	△41,383	△31,977
敷金及び保証金の差入による支出	△316	△42,396
その他	569	606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,256	△376,356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	370,000	324,200
長期借入れによる収入	-	133,000
長期借入金の返済による支出	△3,936	△5,044
配当金の支払額	△150,000	△165,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	216,064	287,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172,790	△155,265
現金及び現金同等物の期首残高	757,454	930,245
現金及び現金同等物の期末残高	930,245	774,980

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の事業分野のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分及び業績評価のために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社は、祖業であるIT教育サービスをもとに、IT人材の派遣事業、保有するIT技術をベースとしたゲーム、セキュリティサービス等へと事業領域を拡大してきました。また、それぞれの事業ごとに事業戦略を構築する体制を確立しており、具体的な事業展開に落とし込んでいます。従いまして、当社は、「ITスクール事業」、「人材ソリューション事業」及び「コンテンツソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

ITスクール事業：法人及び個人向けIT教育（ITスキルの習得・IT資格取得支援等）

人材ソリューション事業：IT技術者の派遣・人材紹介等

コンテンツソリューション事業：ゲームの企画・開発、セキュリティサービス、受託開発等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

各報告セグメントの会計処理方法は、財務諸表を作成するために採用している会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

前事業年度は、人材ソリューション事業の全事業に占める比率が高く、他の事業セグメントの重要性が乏しいため記載を省略しております。

当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	ITスクール 事業	人材ソリューション 事業	コンテンツ ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	159,967	6,024,278	560,134	6,744,380	5,987	6,750,367	-	6,750,367
計	159,967	6,024,278	560,134	6,744,380	5,987	6,750,367	-	6,750,367
セグメント利益又は損失 (△)	△290,265	1,114,478	36,362	860,575	5,987	866,562	△846,115	20,446
セグメント資産	171,795	707,057	174,521	1,053,374	-	1,053,374	1,612,146	2,665,520
その他の項目								
減価償却費	7,329	-	7,152	14,481	-	14,481	22,729	37,210
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	155,850	-	849	156,699	-	156,699	175,234	331,934

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の発行による印税収入であります。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△846,115千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,612,146千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) その他項目の減価償却費の調整額22,729千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額175,234千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	173円79銭	127円95銭
1株当たり当期純利益金額	51円10銭	9円17銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	45円18銭	8円11銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	153,295	27,506
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	153,295	27,506
普通株式の期中平均株式数(株)	3,000,000	3,000,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	521,535	384,041
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	180	180
(うち新株予約権)	(180)	(180)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	521,355	383,861
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,000,000	3,000,000

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。